

永 生 病 院 だ よ り

季 刊
2013
冬 号 vol.

30

ゆるめあ

【理事長のあいさつ】

「新春を迎えて」

【健康ひろば】

「学習療法®について」

【うまげな話】

「野菜の効能」

【今年も慢性期医療学会にて発表】

第20回日本慢性期医療学会in福井

【今年も院内にて発表】

第7回院内学会

【年中行事】

文化祭

クリスマス

鏡開き

【編集後記】



KEIRYOKAI

■ 病院理念

信頼される医療・保健・福祉を提供し、地域の健康増進に貢献する

■ 基本方針

良質な医療を提供するため、心と技術を磨く努力を惜しみません
患者の権利、尊厳、安全を重視した医療を提供いたします
医療、福祉と連携を持ち、急性期医療から在宅医療まで、
全員参加で取り組みます



●理事長のあいさつ

新春を迎えて

新年明けましておめでとうございます。昨年末日本中が寒波にみまわれ、寒い年明けとなりました。

医療崩壊に歯止めをかけ地域医療の再生を期待した民主党政権は、昨年末政権交代となりました。3年3カ月の間、各方面で期待と現実との落差を感じる事が多く、ますます政治不信にならざるをえませんでした。自民党小泉政権下で行われてきた毎年2200億円の医療費削減政策が中止とはなったものの、依然として地方の医療崩壊は続いています。解散総選挙で圧勝した自民党に期待をもちたいのですが、政治に多くは望めないと感じています。

12月21日開催された「国民医療を守るための総決起大会」において、社会保障、医療行政に深い造詣をもっている安部新政権に対し期待感はあるが、経済財政諮問会議を示しており、再び小泉政権下におけるような存在になりはしないかと懸念があると各団体より意見が出されています。是非とも医療の現場を理解した構成員が入ることを期待したいと思います。

厚生労働省より31日人口動態統計が発表されましたが、2007年以降毎年死亡数が出生数を上回って

おり、2012年は人口の自然減が21万人となりました。将来推計では、2060年には人口が8674万人にまで減少するとされています。高齢化と共に人口減少が進んでいくのが加速されます。私達が今まで経験したことのない人口構成、人口減少の時代がくることになります。広い視野で一人一人が学び努力しながら、日本人全体で知恵を出し合い、経済右肩上がりの時代とは異なる、コミュニティーづくりを大切にしたい社会を目指していければと思います。

医療・介護の世界においては、緊縮財政の中で弱者切り捨てではなく、国民皆保険制度を堅持できるような個を大切にしたい日本独特の医療制度を検討すべきと考えます。急性期医療にばかり目をむけず、医療の流れのなかでの無駄をはぶき、より納得できる終末期医療を見出していく必要があるとも考えます。そして、しあわせな終末期医療を行うには、医療従事者がよりポジティブ思考になることが大切だと思います。

理事長 森 伊津子



【第2回】 ~野菜について~ 野菜の効能

野菜は、私たちの食生活に欠かすことができない食品群であることは皆さん、よくご存知のことと思います。野菜は**1日に350g以上**食べることが奨められています。では、何故こんなにも野菜をとらないといけないのでしょうか!?! 今回は、皆さんに「野菜の効能」についてご紹介したいと思います!

野菜の効能①

健康維持に必要なビタミン・ミネラル・カルシウム・食物繊維などの供給源になる。

野菜の効能②

カロリーや脂肪が少ないので肥満や糖尿病の予防につながる。

野菜の効能③

カルシウムの摂取量を増加させることで、骨粗しょう症を予防する。

野菜の効能④

様々な機能性成分を含んでいるので脳卒中や高血圧、ガンなど各種疾病のリスクを低下させる。

〈カルシウムを多く含む野菜と、その含有量〉

小松菜	1/4束 (80g)	232mg
大根の葉	1/2株分 (80g)	168mg
かぶの葉	2株分 (80g)	184mg
春菊	4~5株 (90g)	81mg

~味噌汁の具・うどんの具・寄せ鍋・お浸し・漬物などに有効活用しましょう~

うまげな料理カード <春菊のじゃこ炒め>4人分

材 料 春菊・1束(200g) ちりめんじゃこ・30g サラダ油・大さじ1 塩・小さじ1/3

作り方 ①春菊は茎ごとみじん切りにする。
②フライパンにサラダ油を熱し、春菊を中火で炒める。
③春菊がしんなりしてきたら、ちりめんじゃこを加えて弱火でカリッとなるまで炒め、塩をふる。

野菜を摂取する事で生活習慣病を予防しましょう!

体の安心
情報板

健康ひろば

第19回
テーマ

「学習療法®について」

■学習療法®とは？

学習療法とは、音読と計算を中心とする教材を用いた学習を、学習者と支援者がコミュニケーションを取りながら行うことで、**学習者の認知機能やコミュニケーション機能、身辺自立機能などの前頭前野機能の維持・改善を図るものです。**



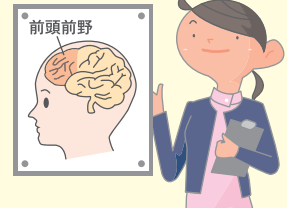
認知症の
問題点

コミュニケーションの障害…言葉を介したコミュニケーション、そして表情などの言葉を介さないコミュニケーションの双方がうまくいかず、他者との意思の疎通が困難になります。感情のコントロールが効かず、突然怒りだして周囲の方を困らせることも問題です。

身辺の自立に関して…食事や衣服の着替えなど他人の手助けが必要となります。

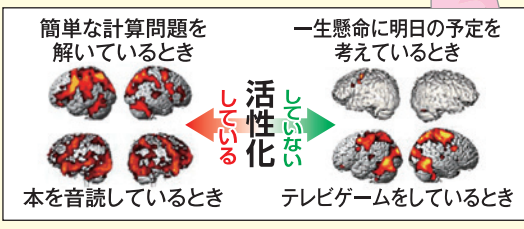
■認知症と脳の関係

上記の問題点、つまりコミュニケーション、感情、身辺の自立などは、すべて大脳にある『前頭前野』という領域がコントロールしています。つまり、認知症の原因は様々ですが、社会で問題となるその症状のほとんどは、前頭前野の機能に関係するものなのです。



■前頭前野について

東北大学・川島隆太教授らの研究により、一桁の足し算などの簡単な計算問題を解いているとき、そして本を音読しているとき、手指を使い何かをつくりだすときに、左右の前頭前野を含めた脳全体が活性化し、一方、一生懸命に何かを考えているときや、テレビゲームをしているときには、一般的に想像されるほど脳前頭前野は活性化していないことが報告されています。



学習療法で活性化!

当院では川島隆太教授らが推奨している学習療法を『学習療法士1級』有資格者職員を置き、認知症の患者様を対象に、週3回実施しています。

学習療法を通じて、認知症の患者様が生き生きと療養できるように取り組んでいきます。

『学習療法®』は東北大学・川島隆太教授と公文教育研究会の登録商標です。

リハビリテーション科

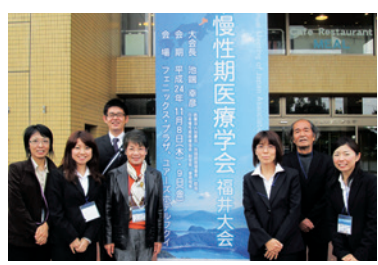


●第20回日本慢性期医療学会in福井

平成24年11月8日(木)・9日(金)

福井県福井市で行われた慢性期医療学会にて、リハビリテーション科「在宅療養の実現に向けて～長期入院でのチームアプローチ～」、グループホームこんびら「インシデント0レベルの取り組みについてまとめる」、看護部「胃瘻造設患者への関わりを通して～多職種協働によるQOL向上～」の3演題を発表してきました。

これまで取り組んできたことをまとめて発表することで、今後の課題も見つけることができました。これからも信頼される医療を目指し様々なことに取り組んでゆきたいと思います。



●第7回院内学会

平成24年9月24日(月)～10月23日(火)

院内学会も7回目の開催となりました。今回は63演題の発表があり、その中で優秀な8演題が選ばれました。



* 最優秀賞 *	「昔家族と出かけた思い出の場所へもう一度」	グループホーム こんびら
	「有給休暇取得促進の取り組みについて」	総務科
優 秀 賞	「誰が見ても分かる環境整備・配置をめざして」	1 病 棟
	「リハビリ・栄養状態との関連性を深める」	リハビリテーション科
	「義歯誤嚥の防止対策に取り組んで」	3 病 棟
特 別 賞	「郷土料理を作ろう」	グループホーム こんびら
	「介護体験実施への取り組み」	2 病 棟
	「酸素吸入マスクのずれ防止」	3 病 棟

● 年中行事



【文化祭】平成24年11月2日(金)～8日(木)



【鏡開き】平成25年1月10日(木)

企画委員会や病棟が中心となり行っている年中行事。ひまわり託児所の子供達も加わり、毎年にごやかに行っています。季節感を感じつつ、少しでも気持ちが安らいでいただけるよう、今後も取り組んでいきたいと思ひます。



【クリスマス会】平成24年12月25日(火)

【編集後記】

新年を迎え、皆様はどのような目標や願い事をされたのでしょうか?ご家族の健康・成績向上・商売繁盛・良縁・宝くじ当選など様々だと思います。私たち医療サービス改善委員会では、健康に少しでも役立つ情報を「ゆるぬき」を通してお伝えしていきたいと思っておりますので、本年もどうぞよろしくお願ひいたします。寒い日が続きます。風邪など引かれませぬように…



医療法人 圭良会

● 永生病院	香川県仲多度郡まんのう町買田221-3 Tel 0877-73-3300
● いこいの郷 (居宅介護支援事業所)	Tel 0877-73-3655
● いこいの家 (通所介護)	Tel 0877-73-3718
● げんきの郷 (通所介護)	仲多度郡まんのう町買田102-1 Tel 0877-58-8811
● 森内科	香川県仲多度郡琴平町167 Tel 0877-73-4188
● グループホームこんびら (認知症高齢者グループホーム)	Tel 0877-73-0811
● サンライズこんびら (小規模多機能型居宅介護)	香川県仲多度郡琴平町榎井字池田451番地1 Tel 0877-58-8600



永生病院 130床(一般病棟 40床・療養型病棟 90床)

永生病院広報誌「ゆるぬき」第30号
発行元：医療法人 圭良会 永生病院
編集者：医療サービス改善委員会
住所：〒769-0311 仲多度郡まんのう町買田221-3
TEL:0877-73-3300
FAX:0877-73-3202
永生病院のホームページ <http://www.eisei-hp.or.jp/>
eメールでのお問い合わせは keiryokai@eisei-hp.or.jp
発行年月日：平成25年1月10日